

# 「くずし字を読む会」



江上 敏哲

京都大学  
情報学研究科図書室

[egami@i.kyoto-u.ac.jp](mailto:egami@i.kyoto-u.ac.jp)

[egami@ma6.seikyou.ne.jp](mailto:egami@ma6.seikyou.ne.jp)

# 0. 「くずし字」と「変体仮名」

## ●「くずし字」とは

- 草書体・行書体
- 手書き  
及び それと同じ書体で印刷
- 原形をとどめていない
- ひらがなが一種類ではない  
(→変体仮名)



# 0. 「くずし字」と「変体仮名」

- 「変体仮名」とは  
「の」

“no” = 「乃 (no)」 —  

---

“no” ≙ 「能 (nou)」 — 

“no” ≙ 「農 (nou)」 — 

字母

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
王 <small>王</small>	良 <small>良</small>	夜 <small>夜</small>	未 <small>未</small>	波 <small>波</small>	那 <small>那</small>	多 <small>多</small>	左 <small>左</small>	閑 <small>閑</small>	安 <small>安</small>
和 <small>和</small>	羅 <small>羅</small>	也 <small>也</small>	万 <small>万</small>	盤 <small>盤</small>	奈 <small>奈</small>	堂 <small>堂</small>	散 <small>散</small>	可 <small>可</small>	阿 <small>阿</small>
み	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
為 <small>為</small>	利 <small>利</small>		三 <small>三</small>	悲 <small>悲</small>	尔 <small>尔</small>	千 <small>千</small>	之 <small>之</small>	支 <small>支</small>	以 <small>以</small>
井 <small>井</small>	里 <small>里</small>		美 <small>美</small>	飛 <small>飛</small>	耳 <small>耳</small>	地 <small>地</small>	志 <small>志</small>	起 <small>起</small>	伊 <small>伊</small>
系	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
惠 <small>惠</small>	流 <small>流</small>	由 <small>由</small>	無 <small>無</small>	布 <small>布</small>	怒 <small>怒</small>	都 <small>都</small>	須 <small>須</small>	久 <small>久</small>	宇 <small>宇</small>
衛 <small>衛</small>	累 <small>累</small>	遊 <small>遊</small>	武 <small>武</small>	婦 <small>婦</small>	努 <small>努</small>	徒 <small>徒</small>	春 <small>春</small>	具 <small>具</small>	有 <small>有</small>
を	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
遠 <small>遠</small>	禮 <small>禮(礼)</small>		免 <small>免</small>	遍 <small>遍</small>	祢 <small>祢</small>	亭 <small>亭</small>	世 <small>世</small>	介 <small>介</small>	衣 <small>衣</small>
越 <small>越</small>	連 <small>連</small>		面 <small>面</small>	幣 <small>幣</small>	年 <small>年</small>	天 <small>天</small>	勢 <small>勢</small>	遣 <small>遣</small>	江 <small>江</small>
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
尤 <small>尤</small>	呂 <small>呂</small>	与 <small>与</small>	毛 <small>毛</small>	本 <small>本</small>	能 <small>能</small>	登 <small>登</small>	曾 <small>曾</small>	古 <small>古</small>	於 <small>於</small>
	路 <small>路</small>	餘 <small>餘</small>	裘 <small>裘</small>	保 <small>保</small>	農 <small>農</small>	東 <small>東</small>	楚 <small>楚</small>	故 <small>故</small>	於 <small>於</small>

# 1. くずし字を読む会

## ●くずし字を読む会

- 古典籍資料のくずし字の読み方を学ぶ勉強会
- 主に京都大学の図書館員  
(毎回 10 人前後 全体で約 30 人)
- 終業後、プライベートで
- 月に 1 ~ 2 回 1 時間

# 1. くずし字を読む会

## ●目標

- 基礎的な変体仮名が読める
- 読み方・勉強の仕方を知る  
(参考図書・ツール等)
- まったくの未経験者が  
今後独習できるようになること

# 1. くずし字を読む会

## ●経緯

- 2003年9月開始
- 約50回
- 当初、2/3が未経験者
  - 現在、大学院入試問題が解ける
- 新規参加者が増えている



## 2. テキスト

### ①「小倉百人一首」

- 嘉永 5 年 (1852) 写本
- 触れた／学校で習った経験がある
- 翻刻がすでにある
- 和歌である
- 100 首で終わる
- 文字が大きい資料だった

## 2. テキスト

### ●和歌のメリット(⇔散文)

-短い

負荷が少ない

担当回数が増える

欠席者をスキップできる

-5・7・5・7・7のリズムから推測

-漢字が少ない

## 2. テキスト

### ②「古今和歌集」

－東海大学桃園文庫蔵 写本（影印）

### ●和歌のデメリット（⇔散文）

－漢字が少ない

－語彙が限定的

－文脈の推測が困難

## 2. テキスト

### ③ 徒然草

- 京都大学菊亭家旧蔵本 写本（影印）
- 漢字が少なめ
- 翻刻がすでにある

### ④ 古今知恵枕

- [享保 19 年 (1734)?] 版本（影印）
- 漢字が多い＋ふりがな

# 3. 習得度

## ● 習得度チェック

- 2004年6月頃実施  
(開始から9ヶ月後)
- 文字単体(変体仮名・漢字)
- 語句(同じ仮名・漢字が含まれる)
- プロフィール等

「この会に参加する前から、この文字(語句)が読めていましたか？」

「現在、この文字(語句)が読めますか？」

「実際に読んでください。」

変体仮名(単体) 5問

漢字(単体) 2問

語句(同じ文字含む) 4問

の

明

あ

月

り

明

の

### 3. 習得度

- かな中心の勉強会で漢字が読めるようになるか
- 過去に経験がなくても読めるようになるか
- 参加回数はどれくらい必要か

etc.

# Q. 漢字がどれだけ読めるか

かな	漢字	語句	かな	漢字	語句
0→3	0→0	0	0→4	0→2	4
0→3	0→0	4	0→5	0→2	4
1→4	0→0	4	0→5	0→2	4
5→5	0→0	0	0→5	0→2	4
0→3	0→1	1	1→5	0→2	4
0→5	0→1	4	2→5	0→2	4
0→5	0→1	4	2→5	0→2	4
			1→5	1→2	4
			4→5	1→2	4
			4→4	2→2	4
			5→5	2→2	4



# Q. 過去にくずし字を勉強した経験

経験	かな	漢字	語句	経験	かな	漢字	語句
ある	2→5	0→2	1→4	ない	0→3	0→0	0→0
ある	2→5	0→2	1→4	ない	0→3	0→1	0→3
ある	4→4	2→2	4→4	ない	0→3	0→0	1→4
ある	4→5	1→2	4→4	ない	0→4	0→2	0→4
ある	5→5	2→2	4→4	ない	0→5	0→1	1→4
ある	5→5	0→0	2→2	ない	0→5	0→2	0→4
				ない	0→5	0→2	2→4
				ない	0→5	0→1	0→4
				ない	0→5	0→2	0→4
				ない	1→4	0→0	0→4
				ない	1→5	1→2	1→4
				ない	1→5	0→2	1→4

# Q. 参加した回数

参加	経験	かな	漢字	語句	参加	経験	かな	漢字	語句
1-3 1回	ない	0→3	0→0	0→0	7-9回	ない	1→5	1→2	1→4
1-3 4回	ない	0→4	0→2	0→4	10回以 上	ない	0→5	0→1	1→4
4回	ない	0→3	0→1	0→3	10回以 上	ない	0→5	0→2	0→4
4回	ない	0→3	0→0	1→4	10回以 上	ない	0→5	0→1	0→4
4回	ない	0→5	0→2	2→4	10回以 上	ない	1→5	0→2	1→4
4回	ない	0→5	0→2	0→4	10回以 上	ある	2→5	0→2	1→4
4回	ない	1→4	0→0	0→4	10回以 上	ある	2→5	0→2	1→4
4回	ある	4→4	2→2	4→4					
4回	ある	4→5	1→2	4→4					
4回	ある	5→5	2→2	4→4					
4回	ある	5→5	0→0	2→2					



### 3. 習得度

- かな中心の勉強でも、漢字が読めるようになるきっかけにはなる。
- 月 1-2 回、1 時間、6 ヶ月（約 10 回）
- 経験の有無、専攻分野は無関係。
- 自主的な予習復習 大差なし
- 対象作品についての予備知識 大差なし

## 4. アンケート

- 「所蔵している資料が読めない」  
「配架・目録に必要」
- 「大学で勉強したことはあるが、続けていないと忘れる」
- 「興味はあっても、独学では無理」
- 「今後古典籍資料を取り扱う部署に異動したときのために」
- 「Web でやってほしい」